

小平市公共施設マネジメントニュース

令和4年12月号 vol.1

中央エリアの整備（中央公民館・健康福祉事務センター・福祉会館の複合化など）に関する利用者・利用団体ヒアリングを開催しました。

市では、将来の人口減少、少子高齢化や施設の老朽化など、公共施設を取り巻く環境の変化を見据え、公共施設の延べ床面積の適正化や魅力あるサービスの実現等に向けて、「小平市公共施設マネジメント基本方針」及び「小平市公共施設マネジメント推進計画」に基づき取組を進めています。

これらの方針及び計画を踏まえ、ワークショップ等の市民参加を経て、令和元年12月に「中央公民館、健康福祉事務センター及び福祉会館の更新等に関する基本計画」を策定し、令和3年度に設計事務所と契約を締結して、敷地条件等の調査を行ってきました。

新建物のレイアウト案等の作成に当たり、コンセプトである市民の多様な活動や交流が地域課題の解決に繋がるような施設を目指して、引き続き市民参加で検討を進めており、10月に利用者・利用団体ヒアリングを実施して、延べ60名の参加を頂きました。実際に施設を使用している利用者・利用団体に、設計について意見や要望を直接聴き取ることにより、利用者・利用団体の率直な声を把握し、基本設計、施設の運営等の参考とします。

開催日等

① 令和4年10月5日（水）

10時00分から11時30分

場所：中央公民館

参加人数：11名

② 令和4年10月14日（金）

10時00分から11時30分

場所：福祉会館

参加人数：16名

③ 令和4年10月19日（水）

13時30分から15時00分

場所：福祉会館

参加人数：13名（障がい者団体）

④ 令和4年10月26日（水）

14時00分から15時30分

場所：中央公民館

参加人数：20名



中央公民館(10/5)でのヒアリングの様子



福祉会館(10/14)でのヒアリングの様子



設問①：あると良い設備や望ましい部屋のづくりは？

みなさんの活動に必要な設備や部屋の仕様、条件等を教えてください。

【ホール、各室】

- ・各ホールや部屋にはそれぞれ用途に応じた必要な設備やつくりがあるので、現施設と同等にしてほしい。ホールは何もない状態で、椅子がしまえる倉庫が必要。
- ・防音機能のある部屋やホールが必要。建物内やホールでは、変に音が反響しない、音響を考えた造りにしてほしい。
- ・ホールの舞台は高さの調節ができるとよい。舞台の横幅のスペースが現状よりもう少しあるとよい。
- ・調理実習室のような場があるとよい。部屋のつくりも設備もシンプルで、使いやすさが大事である。調理台やシンクを天板で閉めて机になれば、他の活動でも幅広く使えるようになる。コンロはIHでもよい。
- ・工芸室、陶芸小屋、窯が必要。焼く楽しみがあるため、ガスがよいが、安全性や環境等を考えると、電気でも仕方ない。
- ・和室は茶道でも使いやすいように、和室を理解している人がつくった中央公民館の和室を見本にしてほしい。
- ・ガラス壁等を用いた活動の見える化はよいと思う。活動が広がるし、自分たちもどんな活動をしているのか関心を持って見ることができる。参加してみたいくなる。
- ・部屋の中に更衣室があると狭くなるので、共用で使える更衣室を設置してほしい。

【設備、備品】

- ・どこでどんな活動を行っているのか、すぐに分かるように掲示板の設置等をしてほしい。
- ・現在の中央公民館はWi-Fi環境が悪いので、改善してほしい。
- ・新型コロナウイルス感染症等も踏まえ、空調の良い施設がよい。通気性も十分に確保してほしい。
- ・冷暖房は各部屋で調節ができるとよい。
- ・地中熱の利用や太陽光パネルを設置するとよい。LCC（建物のライフサイクルにわたって発生する費用）の削減を考慮してほしい。
- ・防災機能を意識した施設にしてほしい。
- ・講座を受講していて、PCの利用頻度が高いので、貸出カメラやPCを持ち込めば使える周辺機器の常設が各部屋にあるとよい。
- ・プロジェクターは解像度が悪いため、大画面のモニター設備がほしい。
- ・音楽活動を行う団体が複数いるため、複数の部屋にピアノを設置してほしい。
- ・建物の外や広場にも座れる場所を作ってほしい。

【保育、子ども】

- ・男女トイレともに、おむつ交換台とベビーチェアを設置してほしい。子どもが使いやすいトイレがあるとよい。
- ・授乳室があるとよい。
- ・保育室は地下にあると子どもが怖がるので、できれば1階に設置してほしい。不特定多数の人の接触はセキュリティ上、問題なので、一般の出入口と保育室の出入口は分ける必要がある。

【ユニバーサルデザイン】

- ・ユニバーサルシートやオストメイト等が整備された誰でもトイレを設置してほしい。異性でも介助できるトイレがあるとよい。
- ・聴覚障がい者に光で知らせる火災報知器があるとよい。文字で掲示するシステムを導入してほしい。エレベーターの視認性を上げて、状況が内外から見えるようにガラス等で透明なものにしてほしい。

- ・貸出用のヒアリンググループを準備してほしい。なかまちテラスでは公民館でしか使えず、使い勝手が良いくないので、新建物では幅広く使えるとよい。
- ・視覚障がい者は、見えにくいから全く見えないまで幅広い。壁と文字のコントラスト、デザインに配慮してほしい。また、音声案内のシグナルエイドがあるとよい。
- ・エレベーターのボタンは、点字ではなく指で触って分かるもの、触ると「1階」、「2階」と音声案内してくれるものがよい。中途障がい者は、点字が読めない人が多い。
- ・身体障がい者用駐車場から建物まで濡れないように屋根を設置して、アプローチしやすい施設としてほしい。エレベーターはストレッチャーや座位保持装置が介助者とともに入れる広さが必要。

設問②：広い部屋？たくさんの部屋？

貸し部屋は、利用率と活動内容を踏まえ集約化する想定です。広い部屋の要望がある一方で、予約の取りやすさの視点で、部屋の数の確保を要望する意見もあります。両方を満たす場合、例えば、可動式間仕切り等を活用するなどの工夫が必要になります。みなさんの活動では、どの考えを優先しますか？

- ・人数のボリュームや活動内容を踏まえて、貸し部屋の大きさや数を検討してほしい。
- ・広い部屋も小さな部屋も、バランス良く配置してほしい。
- ・小さな部屋も必要であり、100名規模でも利用できる場所も必要。
- ・現在、中央公民館ホール、福社会館市民ホール、小ホールと3つのホールがあるが、土日の利用率は高く、数が減ってしまうと予約が取りにくくなるので減らさないでほしい。
- ・広い部屋（ホール）は2つほしい。講演会や音楽活動などで利用することから防音機能や舞台も必要。
- ・音楽活動や上映会などを行える防音機能が整った音楽室や視聴覚室のようなところがほしい。
- ・現在の中央公民館ギャラリーのような場所は確保してほしい。
- ・30人～40人、50人～60人規模で活動できる部屋がほしい。
- ・20人～30人規模の団体が多いので、この人数で活動できる広さの部屋が複数ほしい。
- ・活動継続の観点から予約の取りやすさが重要であり、たくさん部屋がある方がよい。可動式間仕切り対応でもよいが、それぞれの活動に支障が出ないように、防音に配慮してほしい。
- ・可動式間仕切りにより、部屋数を増やしてほしい。多目的に使い、自由に人数調整が可能となるとよい。
- ・小さい部屋は可動式間仕切りではなく、独立した部屋がよい。

設問③：フリースペースを素敵にするアイデア

様々な人や世代が気軽に集い交流する場として、フレキシブルに使えるフリースペースを設置します。フリースペースを有効に使うためのアイデアや意見を聞かせてください。また、みなさんの活動で、フリースペースを使うとしたら、どのようなことが可能ですか？そのためにどのような配慮が必要ですか？

- ・食事や休憩ができる場所にしてほしい。気軽に集まって談話できるとよい。
- ・待ち合わせや打合せができるとよい。
- ・コワーキングスペースがあるとよい。
- ・学生が自習できる場になるようにしてほしい。
- ・グループで談話できるテーブルや、個人で来ても使えるスペースがあるとよい。
- ・一部にパーティション等で仕切られた区画や、ちょっとした仕切りや目隠しがあるとよい。会話するスペースと自習室的なスペースは分けた方がよい。
- ・健康センターに用事があって訪れた親子がふらっと立ち寄りやすい場となればよい。
- ・子どもが遊べるスペースがあるとよい。インクルーシブ遊具があるとよい。

- ・カフェ、自動販売機等があるとよい。飲み込みに障がいがある人向けに、配慮食メニューがあるとよい。
- ・地場産の野菜売り場、マルシェがあるとよい。ちょっとしたスペースを期間限定で色々な団体等に貸し出して、活用できるとよい。
- ・なかまちテラスのように、障がい者が働ける場があるとよい。
- ・障がい者も利用しやすいスペースになるとよい。
- ・ルールはゆるい方が使いやすい。事前予約は不便なので、急な利用でも使える必要がある。
- ・BGMを流したり、ロビーコンサートを開催してはどうか。

設問④：何を大切にしたい？

設計上、配慮すべきことは何ですか？優先度が高いものを教えてください。
(貸し部屋、トイレ、広場など、何でもかまいません)

- ・デザインより機能を重視してほしい。
- ・障がい者を含む全ての人にとって使いやすい施設にすべきであり、そのような方から意見を聴取してほしい。車椅子等の障がい者にとって、動線にストレスが無いよう配慮してほしい。
- ・多世代が集まれる場になってほしい。多目的に利用できる場にしてほしい。
- ・子どもや若者が使える場という視点を持ってほしい。
- ・子どもの遊べる場が減ってしまったので、子どもが遊べる場があるとよい。
- ・緑の多い場になってほしい。
- ・広場は野球やサッカー場等のように用途を決めずに、どんなことでも使える広場がよい。
- ・貸し部屋の数と広さを確保してほしい。
- ・市民ホールと同じくらいのホールと、講演会もできるように舞台が必要。
- ・市内広域から人が集まるので、駐車場や駐輪場が必要。
- ・雰囲気大切にしたい。市民同士のコミュニケーションが豊かになるとよい。市民にとって身近に感じられることが大切。
- ・働く人が働きやすい場にする 것도大事。そのことは良い市民サービスにも繋がる。
- ・公民館という機能、本質は残してほしい。
- ・市民意見を反映し、みんなでつくりあげたものにしてほしい。
- ・限られた人の意見だけではなく、今は施設を利用していない市民の声もしっかり聴いてほしい。

その他のご意見

- ・福祉事務スペースは、プライバシーに配慮した、静かで落ち着いた空間が望ましいので、他のフロアと吹抜けで繋がっていると音が伝わってしまいよくない。
- ・福祉事務スペースは、業務時間以外は閉まってしまうので、フロアの連続性から4、5階にした方がよい。
- ・現在の健康福祉事務センターは、障がい者支援課や高齢者支援課が1階にあって便利。
- ・現状の中央公民館は予約の制約が厳しいので、福祉会館のように変えてほしい。
- ・デジタル技術を積極的に活用してほしい。



【お問合せ】 小平市 企画政策部 公共施設マネジメント課
 〒187-8701 小平市小川町 2-1333
 TEL042-346-9557 FAX042-346-9513
 メールアドレス facility-mg@city.kodaira.lg.jp